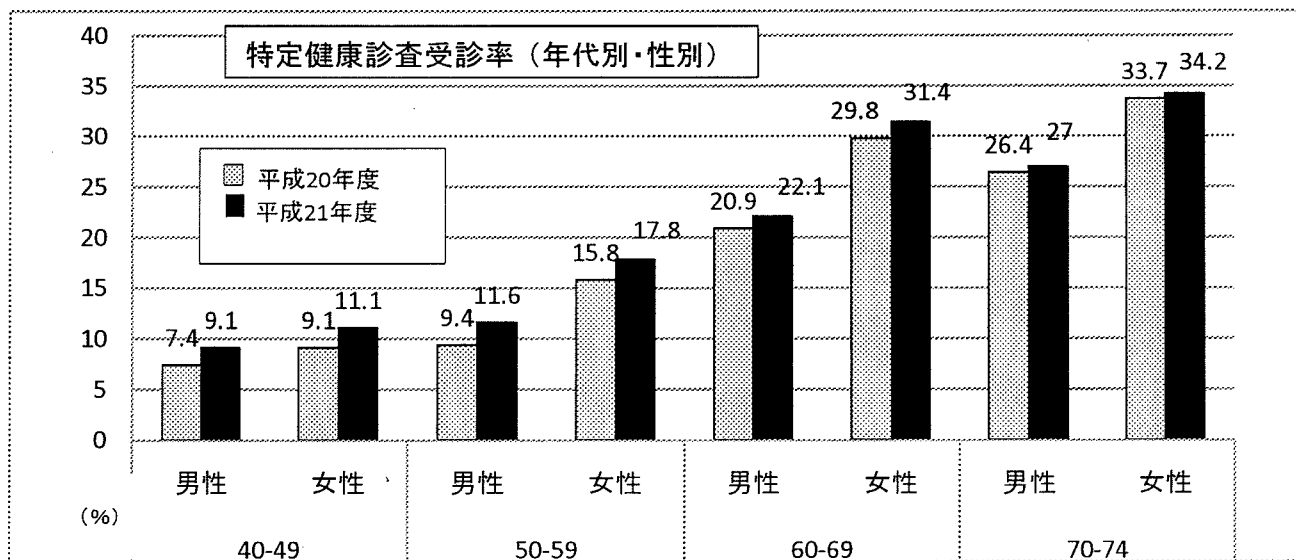


1、国保特定健康診査

年齢	性別	受診者数(人)		受診率(%)	
		21	20	21	20
40-49	男性	177	143	9.1	7.4
	女性	182	151	11.1	9.1
小計		359	294	10.0	8.2
50-59	男性	381	330	11.6	9.4
	女性	565	535	17.8	15.8
小計		946	865	14.7	12.6
60-69	男性	1,362	1,211	22.1	20.9
	女性	2,355	2,160	31.4	29.8
小計		3,717	3,371	27.2	25.8
70-74	男性	889	867	27.0	26.4
	女性	1,411	1,421	34.2	33.7
小計		2,300	2,288	31.0	30.5

男性合計	2,809	2,551	19.2	17.6
女性合計	4,513	4,267	27.4	25.8
総計	7,322	6,818	23.5	22.0



※特定健診・特定保健指導とは

糖尿病などの生活習慣病対策および将来の医療費削減につながるとして、平成20年度から医療保険者に義務付けられた健診制度。（糖尿病、脳卒中、心筋梗塞などに代表される生活習慣病の患者は年々増加し、現在では国民医療費のおよそ30%を占めている。）

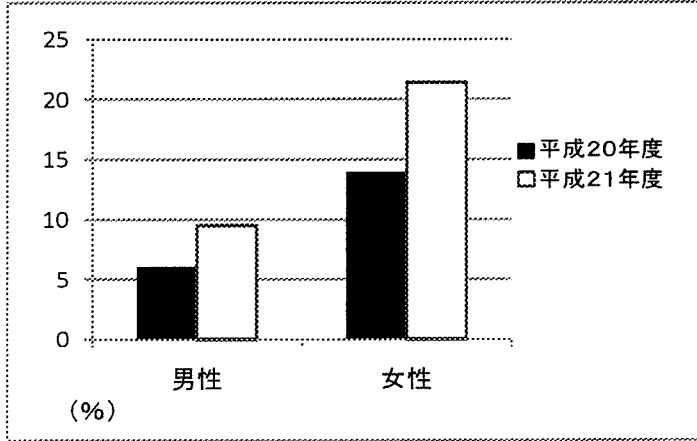
2、特定保健指導

性別	対象者数(人)		利用者数(人)		利用率※(%)		修了者数(人)		実施率※(%)	
	21	20	21	20	21	20	21	20	21	20
男性	592	499	87	63	14.7	12.6	56	30	9.5	6.0
女性	378	388	88	93	23.3	6.0	81	54	21.4	13.9
総計	970	887	175	156	18.0	17.6	137	84	14.1	9.5

※利用率…特定保健指導を利用した者の割合

※実施率…特定保健指導が修了した者の割合

【特定保健指導 実施率(平成20年度、平成21年度)】



平成21年度実施率は、男女とも20年度より増えた。特に女性の実施率は、13.9%から21.4%に増加した。

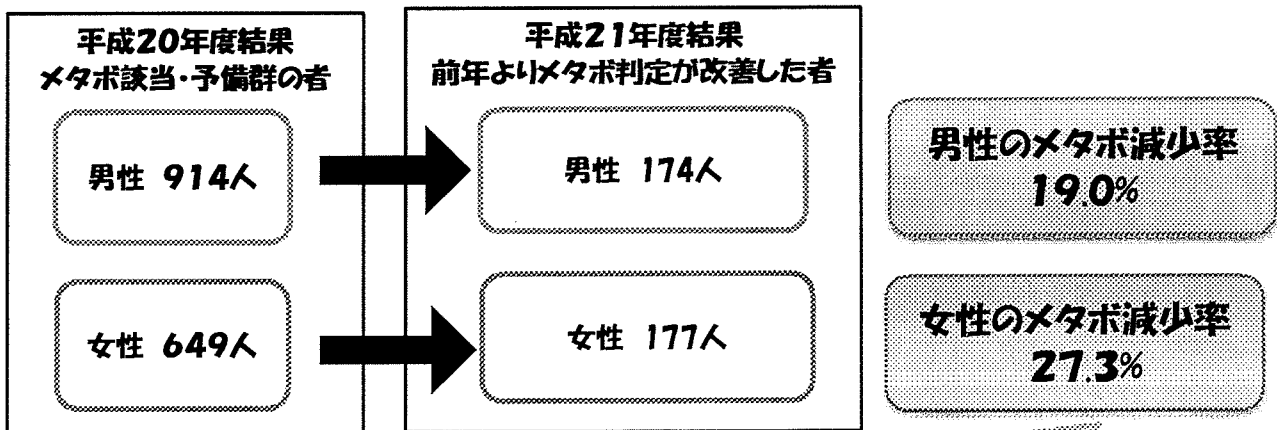
3、メタボリックシンドロームの状況 (鳥取市国保特定健康診査結果より)

1) メタボリックシンドロームの割合 (全受診者に対する割合)

平成20年度	25.3%
平成21年度	26.2%

全受診者に対するメタボリックシンドロームの割合は前年に比較して増加した。

2) メタボリックシンドロームの減少率(平成20年度にメタボと判定された者のうち平成21年度は改善した者の割合)



平成20年度にメタボ該当、予備群と判定された人のうち、平成21年度健診結果では、メタボ該当から予備群または非該当に、予備群から非該当に改善した人が、男性で19%、女性で約27%あった。

メタボリックシンドロームとは…

内臓脂肪型の肥満に加えて、高血圧、高血糖、脂質異常のうち2つ以上を合わせもった状態。メタボリックシンドロームの状態を放置しておく、将来的に糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞などの命にかかわる生活習慣病を引き起こす危険性が高くなる。